

日本社会科教育学会 第64回全国研究大会（静岡大会）のご案内（1次案内）

日本社会科教育学会会長 坂井 俊樹
全国研究大会実行委員長 馬居 政幸

近年、社会の変化を受けて、社会科をどのように発展させていくかが問われています。子どもがいま生活し、これから担う社会をつなぐ授業の創造こそ、公民的資質の育成を目指す社会科の古くて新しい課題です。日本社会科教育学会の第64回全国研究大会を、静岡大学を会場にして開催することになりました。これまで、いま、さらにこれからの社会をつなぐキーワードを“変化”ととらえて、「変化する社会と学校をつなぐ」を大会主題に掲げました。

第64回全国研究大会を迎え、社会科教育の実践と研究が、いまとこれからの生きる子どもに対して、どのようにあるべきかを問い直す機会になることを願っています。自然豊かで、標高差を誇る静岡大学キャンパスが、皆様をお迎えいたします。多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

なお、大会への参加、発表される場合には自由研究発表の申し込み、懇親会への参加、関連行事への参加、弁当の注文、宿泊の予約につきまして、所定の期日までにご通知いただき、費用をお振り込み下さいませよう、お願い申し上げます。**期日までに費用をお振り込みいただくと、当日にお支払いされる場合の費用よりもお安くなります。**当日の受付の混雑を緩和するためにも、ご協力いただけると幸いです。

1. 大会主題 変化する社会と学校をつなぐ
2. 主催 日本社会科教育学会 日本教育大学協会全国社会科部門
3. 後援 静岡県教育委員会 静岡市教育委員会 浜松市教育委員会
4. 会場 静岡大学教育学部（〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷 836）
5. 期日 2014（平成26）年11月29日（土）・30日（日） ※関連行事は28日（金）
6. 日程

第1日目 11月29日（土）

8:30 9:30 12:00 13:30 16:00 16:15 17:00 17:20 19:20

受付	自由研究発表	昼食 評議員会	シンポジウム	移動	総会	移動	懇親会 （静岡大学 第一食堂）
----	--------	------------	--------	----	----	----	-----------------------

第2日目 11月30日（日）

8:30 9:00 11:30 12:30 15:00

受付	自由研究発表	昼食	課題研究発表
----	--------	----	--------

7. 関連行事

- (1) 授業公開 2014（平成26）年11月28日（金）
- 会場 静岡大学教育学部附属島田中学校（〒427-0041 静岡県島田市中河町 169）
- 内容 法的空間を生きる私たち—社会と学校をつなぐ社会科授業—
- 受付 13:00
- 授業 13:40～14:30
- 研究協議会 14:45～16:45

(2)巡検	2014（平成26）年11月28日（金）
内容	世界文化遺産富士山の魅力と社会科教育
対象地域	富士宮市および富士市周辺
人数	先着30名
集合時間・場所	13:00・JR静岡駅前集合
時間	13:00～17:30
費用	1500円（ただし、JR静岡駅までの移動にかかる費用に関しては実費負担）

8. シンポジウム

テーマ 人口減少によって変化する社会と社会科教育の可能性

[趣旨]

2005年に、日本は人口減少社会に転換しました。社会は人によって形成される以上、人口減少は社会の変化に直結します。大会主題をうけて、シンポジウムでは、日本社会に進行する変化の一つである人口減少に注目しました。

人口減少は、人と人、人と社会、社会と社会との関係性に、少なからず影響を及ぼします。たとえば、支える側の減少に伴う社会保障の仕組みの公正さへの信頼の揺らぎや生産年齢人口の推移による産業構造への影響、在留外国人や移民といった越境する市民の人権や異文化共生の課題、少子高齢化に伴う生命倫理の考え方といった様々な社会の課題に、新たな変化をもたらします。新たな変化に対応する市民を育てるために、いまとこれからを生きる子どもを育てる学校教育も変わっていかなくてはならないことは、言うまでもありません。

より良い社会の創造のために、このような新たな変化をもたらす様々な社会の課題に、主体的に問いをもつて考え、お互いに意見を議論し合い、その解決のために協力して行動する資質や能力が、市民一人ひとりに今後ますます問われるようになるでしょう。そのため、公民的資質の育成を目指す社会科において、人口減少による社会の変化に向き合うことに、大きな意味があると考えます。

この人口減少によって変化する社会と学校をつなぐ社会科教育には、様々な課題があります。東アジア各国の人口減少との関係を視野においた社会科教育の方策、第三次産業化による産業学習の変革、単独世帯の増加に代表される社会の個人化に対応した新たなシティズンシップ教育の構築、人口減少を想定した社会科授業づくりの取り組みといったものです。

シンポジウムでは、このような多様な観点から、社会科教育の課題をシンポジストに提起していただく予定です。そして、人口減少によって変化する社会と社会科教育の可能性をめぐって、どのような市民の育成を目指すのか、そのためにどのような授業が求められるのか、参加者の皆さんとともに議論を深めます。

コーディネーター 池野範男（広島大学） 馬居政幸（静岡大学）

シンポジスト 李 明熙（韓国公州大学校）

唐木清志（筑波大学）

石川照子（兵庫県立西宮香風高等学校）

米津英郎（富士宮市立内房小学校）

9. 課題研究

I 「知識基盤社会化やグローバル化が進む時代」と社会科の学力

コーディネーター 栗原久（東洋大学） 土屋武志（愛知教育大学）

[趣旨]

「知識基盤社会化やグローバル化が進む時代にある今」。文部科学省『学習指導要領解説社会編』（2008年）が指摘する「社会の変化」です。このような「時代にある今」、社会科はどのような学力を子どもに身につけさせたらいいのでしょうか。また、それは、どのような授業で可能なのでしょうか。具体的に議論したいと考えます。

II シティズンシップ教育の授業を問い直す

コーディネーター 吉村功太郎（宮崎大学） 桐谷正信（埼玉大学）

〔趣旨〕

近年、変化する社会に生きる子どもに必要なシティズンシップの育成を目指して、多様なシティズンシップ教育を取り入れた社会科の授業の可能性が模索されています。文部科学省『学習指導要領』（2008年）でも、子どもに社会参画力を培う重要性や、多様なシティズンシップ教育の方向性が示されています。シティズンシップ教育を取り入れた社会科授業は、従来の社会科授業とどのような点が異なっているのか検討します。

III ESDで社会科はどう変わるか？

コーディネーター 池俊介（早稲田大学） 桑原敏典（岡山大学）

〔趣旨〕

ESDは、今の世代だけではなく、将来の世代の利益や幸福にも配慮した公正な社会のあり方を考えさせる教育です。現在、ESDの理念は学校教育全体に広く浸透し始めています。ESDは、これからの社会科の授業やカリキュラムをどのように変えていくのでしょうか。その姿を、なるべく具体的に明らかにしていきたいと思います。

IV 社会科における教育実習の課題

コーディネーター 加藤公明（元千葉県公立高等学校） 川崎誠司（東京学芸大学）

〔趣旨〕

教育実習は社会科の教員養成に重要な役割を果たしてきたにもかかわらず、その指導内容が具体的に検討されることはほとんどありませんでした。昨年の大会における活発な議論から見てきた実習生の問題意識の醸成・力量形成の問題、実習生同士の協働的省察のあり方、実習指導の責任の所在などの中から、焦点を絞って議論を深めたいと思います。

V 「歴史基礎」「地理基礎」の可能性

コーディネーター 篠塚明彦（弘前大学） 佐藤亨（都立大森高等学校定時制）

〔趣旨〕

2011年に学術会議が高校地歴教育の改革について提言を出しました。その柱が「歴史基礎」「地理基礎」の新設です。これは、高校の社会系科目の在り方を大きく左右しますが、学校現場では十分に認知されていません。高校や中学校で教鞭を執る会員も多い本学会の特性を活かし、「歴史基礎」「地理基礎」の問題を検討したいと思います。

10. 大会参加の申し込みについて

(1)参加費

①大会参加費

一般会員：3000円（事前登録）、3500円（当日登録）

学生・院生会員：2500円（事前登録）、3000円（当日登録）

非会員：3500円（事前登録・当日登録）

②懇親会参加費

会員・非会員：4000円（事前登録）、5000円（当日登録）

③弁当代（お茶付き）

第1日目のみまたは第2日目のみ：800円 両日：1600円

【振り込み先】 ゆうちょ銀行

口座記号：00880-8 口座番号：215430

口座名：日本社会科教育学会第64回全国研究大会実行委員会（ニホンシャカイカキョウイクガツカイダイロクジュウヨンカイゼンコクケンキュウタイカイジッコウイインカイ）

(2)大会参加の登録について 【締切】2014（平成26）年10月31日（金）

!! 振り込みも忘れずをお願いします。大会参加の登録を済ませただけでは、事前登録となりませんのでご注意ください。!!

- ①大会への参加は、学会ホームページの第64回全国研究大会（静岡大会）（http://socialstudies.jp/ja/research_conference.html）をご確認の上、学会ホームページから送信してお申し込み下さい。ホームページをご覧になれない方は、同封の用紙と同様の内容をメールまたはファックスでお送りいただいても結構です。
- ②大会の受付事務は、静鉄観光サービス株式会社（担当：杉山智之）に委託しています。連絡先は、メールアドレス：t-sugiyama@shizutetsukanko.com、FAX：054-251-6710になります。
- ③大会参加申し込み用紙と振り込み用紙を同封します。**大会参加の登録、大会参加費・懇親会参加費・巡検費・弁当代・宿泊費の振り込みは、全て10月31日（金）が締切です。**
- ④振り込みが確認できた時点で、大会参加の事前登録の完了とみなします。なお、事前登録された方には、当日配布する『大会論文集』を確保します。当日の受付の混雑を緩和するためにも、可能な限り、事前登録をして下さい。
- ⑤11月24日（月）までの事前登録のキャンセルは、振り込み手数料を除いて返金します。静鉄観光サービス株式会社（担当：杉山智之）にご連絡下さい。

11. 自由研究発表の申し込みについて 【締切】2014（平成26）年8月4日（月）

!! 大会参加の登録も忘れずをお願いします。大会参加の登録とは締切が異なりますのでご注意願います。!!

!! 自由研究発表の申し込みは会員に限ります。!!

- (1)自由研究発表の申し込みは、大会参加の登録時に、学会ホームページから送信してお申し込み下さい。送信する項目は、①氏名、②所属、③連絡先（住所・電話・ファックス）、④メールアドレス、⑤自由研究発表題目、⑥プロジェクターの使用の有無になります。自由研究発表の申し込みは、学会ホームページからを原則としますので、ご協力下さい。ホームページをご覧になれない方は、同封の用紙と同様の内容をメールまたはファックスでお送りいただいても結構です。連絡先は、上記10の(2)②と同様になります。
- ⑤自由研究発表題目は、『大会論文集』の原稿作成時に変更がないようにお願いします。連名での報告の場合は、代表一人の③連絡先（住所・電話・ファックス）と④メールアドレスを記載して下さい。
- (2)自由研究発表の申し込み後5日以内に、静鉄観光サービス株式会社（担当：杉山智之）より受付の返信をします。返信がない場合は、大会事務局に直接お問い合わせ下さい。
- (3)**自由研究発表の申し込みは、8月4日（月）が締切です。**
- (4)自由研究発表に関する連絡は、全て記載のメールアドレスにて行いますので間違いのないよう、ご注意下さい。
- (5)**『大会論文集』の原稿は、9月16日（火）が締切です**ので、ご準備下さい。『大会論文集』の原稿に関する詳細（原稿様式・提出方法）は、自由研究発表の申し込み者にメールにて連絡します。
- (6)『大会論文集』の編集事務は、サイトー印刷株式会社（担当：齋藤誠）に委託しています。連絡先は、メールアドレス：makoto@websaito.com、FAX：054-336-6670になります。
- (7)自由研究発表の発表時間は、発表20分、質疑応答10分（計30分）です。自由研究発表に関する詳細（発表時間・発表会場）は、大会プログラム（2次案内、10月中旬送付予定）に掲載いたします。
- (8)発表の際は、事務局で準備するプロジェクターをご利用いただけます。プロジェクターをご利用の方は、ご自身のパソコンをご持参下さい。その他の機材の使用を希望される場合は、自由研究発表の申し込み時にご相談下さい。

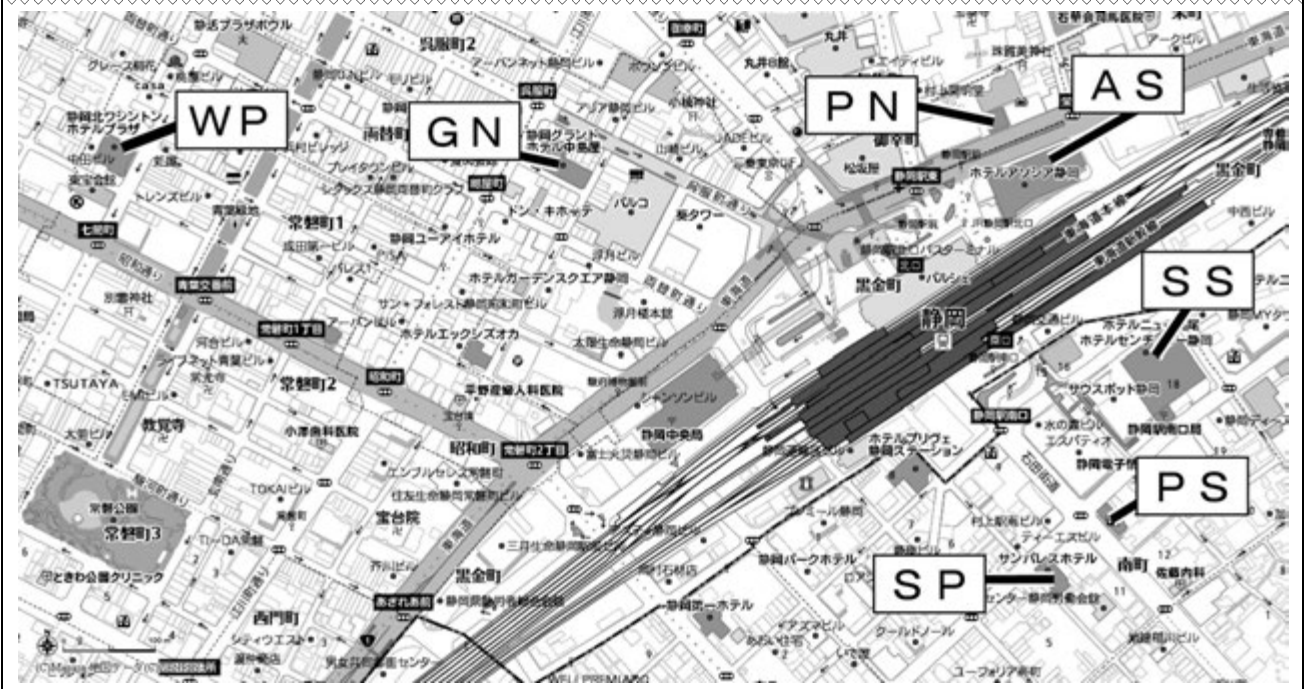
12. 会期中の昼食（弁当）

大学近辺にはコンビニ・飲食店がほとんどありませんが、29日（土）のお昼のみ、学食（第一食堂）およびフードショップが営業しております。ただし、大学構内は坂道や階段が多いので、移動に負担を感じられる方は、弁当の注文をお勧めします。弁当は29日（土）、30日（日）ともにお茶付きで800円です。弁当の注文は、大会参加の登録時に、学会ホームページから送信してお申し込み下さい。

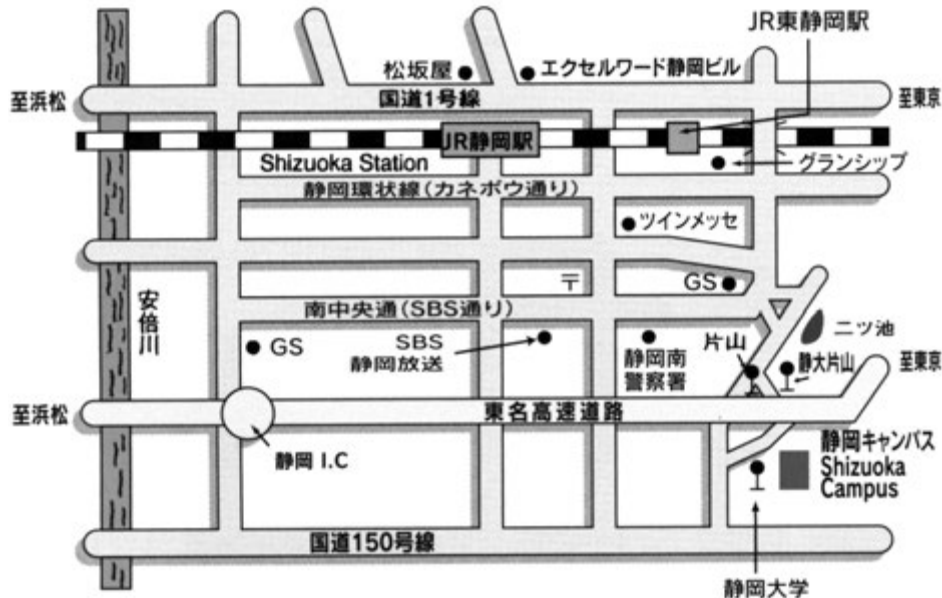
13. 宿泊のご案内

宿泊の予約は、下表より選択の上、大会参加の登録時に、学会ホームページから送信してお申し込み下さい。送信する項目は、①宿泊先記号、②宿泊日、③禁煙・喫煙別になります。宿泊先は、全てシングル、朝食付きになりますが、その他のご希望がある場合は、宿泊の申し込み時に静鉄観光サービス株式会社（担当：杉山智之）にご相談下さい。宿泊先の部屋数に限りがありますので、ご希望に添えない場合もあります。

宿泊先記号・宿泊先名		料金(1泊・税込・シングル朝食付き)	所在地
PN	静鉄ホテルプレジオ駅北	8,780 円	静岡市葵区御幸町 11-6 ☎054-252-2040 http://www.hotel-prezio.co.jp/ ❖JR 静岡駅北口より徒歩約 3 分。
PS	静鉄ホテルプレジオ駅南	10,100 円	静岡市駿河区南町 13-21 ☎054-202-5000 http://www.hotel-prezio.co.jp/ ❖全て禁煙ルームとなります。 ❖JR 静岡駅南口より徒歩約 2 分。
AS	ホテルアソシア静岡	11/29 : 12,000 円	静岡市葵区黒金町 56 ☎054-254-4141 http://www.associa.com/sth/ ❖11/28 は満室です。 ❖静岡駅北口より徒歩約 1 分。
SS	ホテルセンチュリー静岡	11/28 : 10,550 円 11/29 : 11,550 円	静岡市駿河区南町 18-1 ☎054-284-0111 http://www.centuryshizuoka.co.jp/ ❖JR 静岡駅南口より徒歩約 1 分。
GN	静岡グランドホテル中島屋	8,800 円	静岡市葵区紺屋町 3-10 ☎054-253-1151 http://www.sn-hotels.com/sgh/ ❖JR 静岡駅北口より徒歩約 5 分。
SP	サンパレスホテル	7,800 円	静岡市駿河区南町 11-29 ☎054-282-2277 http://www.sunpalace-h.jp/ ❖JR 静岡駅南口より徒歩約 3 分。
WP	静岡北ワシントンホテル プラザ	11/28 : 6,900 円 11/29 : 8,300 円	静岡市葵区七間町 11-1 ☎054-221-0111 http://shizuoka.washington.jp/ ❖全て禁煙ルームとなります。 ❖JR 静岡駅北口より徒歩約 10 分。



14. 会場へのご案内



【バス】

JR 静岡駅北口 8 番バス乗り場より、しずてつジャストライン・美和大谷線
「静岡大学」行き (35 番) または「東大谷」行き (34・36 番) に乗車 (土日は1時間に4~6本運行)
「静岡大学」行き便に乗車の場合、静岡大学停留所下車 (約25分, 290円)
「東大谷」行きで「静岡大学」経由便に乗車の場合、静岡大学停留所下車 (約25分, 290円)
「東大谷」行きで「片山南」経由便に乗車の場合、片山停留所下車 (約25分, 290円), 徒歩約5分
※大学構内は、坂道や階段が多いので、会場までの移動時間にご注意下さい。

【タクシー】

JR 静岡駅南口より約20分, 2000円程度
JR 東静岡駅南口より約10分, 1400円程度
※大学構内には一般駐車場はありませんので、自動車での来校はご遠慮下さい。

15. お問い合わせ

学会ホームページ (http://socialstudies.jp/ja/research_conference.html)

※大会に関する最新情報は、学会ホームページにて随時お知らせします。

(1)大会参加の事前登録, 自由研究発表の登録, 大会参加費・懇親会費・巡検費・弁当代・宿泊費の振り込み

静鉄観光サービス株式会社

日本社会科教育学会第64回全国研究大会 (静岡大会) 実行委員会 会計・受付部 杉山智之
メールアドレス: t-sugiyama@shizutetsukanko.com FAX: 054-251-6710 TEL: 054-251-6415

(2) 『大会論文集』の原稿の提出

サイトー印刷株式会社

日本社会科教育学会第64回全国研究大会 (静岡大会) 実行委員会 編集部 齋藤誠
メールアドレス: makoto@websaito.com FAX: 054-336-6670 TEL: 054-336-6666

(3)その他の事項

日本社会科教育学会第64回全国研究大会 (静岡大会) 実行委員会 事務局 磯山恭子
〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷 836 静岡大学教育学部
メールアドレス: jass64th@gmail.com

※問い合わせは、メールでお願いします。電話の場合には、静鉄観光サービス株式会社 (担当: 杉山智之) に連絡して下さい。